

令和8年度 牧之原市立萩間小学校 グランドデザイン

児童の実態

- 安定した人間関係が継続している。
- 自己肯定感が高まってきて、様々なことに前向きに取り組む子が多くなった。
- 学級内だけでなく、学年を超えた関わりが多く見られる。
- ▲単学級であるため、人間関係が固定化している。
- ▲新たな人間関係や一歩踏み込んだ人間関係を築く必要性が少ない。
- ▲自分の言葉で伝える力が弱い。
- ▲学級内の学力差がある。

第1ステージ 4/7～5/31
元気と笑顔
 ～根をはる～

第2ステージ 6/1～10/4
勇気と思いやり
 ～莖をのばす～

第3ステージ 10/5～1/5
挑戦と磨き合い
 ～花をさかす～

第4ステージ 1/6～3/31
成長と感謝
 ～実をつける～



学校教育目標

自ら学び 共に伸びる

重点目標

高めよう、高め合おう！

目指す姿

失敗を恐れずに挑戦し続ける子・自分も人も大切にする子

静岡県の教育施策

「有徳の人」の育成

牧之原市教育大綱

【基本理念】こころざしを持ち夢ある人づくり

「次代を切り拓く力」の育成

- 起郷家(キャリア)教育
- 9年間のつながりを意識した授業
- コミュニティ・スクール

【学びづくり部】

自分を高め、みんなで高め合う授業づくり

- ① 子供主体の学びの探究
 「深い学びにつながる単元構想」「学びを調整する力の育成」
- ② 授業のユニバーサルデザイン
- ③ ツールとしての ICT の活用

【心育て部】

自分を高め、みんなで高め合う学校づくり

- ① 自慢づくり (あいさつ・そうじ)
- ② 人間関係づくり
 (キラッとみつけ・静岡県版 SEL)
- ③ ルールの徹底

【成果指標と数値目標(抜粋)】

- ・自分の目標をもち、その目標に向かって挑戦することができている 85%以上
- ・学級や学校のみならず協力することができている 90%以上
- ・授業で学習していることがわかる 90%以上
- ・地域の人・もの・ことに関わる学習を通して、地域が好きになっている 90%以上
- ・自分には良いところがある 90%以上
- ・自分のことが好き 80%以上
- ・学校が楽しい 90%以上
- ・教職員としての専門性を磨き、自己の成長を実感できている 90%以上

学校経営の重点

- 1 どの子供も真剣に取り組み、「分かった、できた」「考えが広がった、深まった」を実感できる授業づくり
- 2 発達支持的生徒指導を基盤とする、望ましい集団活動を通した温かい人間関係づくり
 ・他者意識と自己有用感のさらなる向上に重点
- 3 地域への愛着の育成(地域と連携し、持続可能で、子供の成長をより支えることのできる活動の充実)
- 4 学び続ける職員集団(教職員研修の充実と組織的な教育活動の展開)

萩間明るい子供を育てる会

地域

環境支援

授業支援

学習支援

読書支援

安全支援

体験活動

家庭

学校
 教職員

明るく元気で
 個に寄り添う
 温かな先生がいる